

# 令和6年度の事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人光量子医学推進機構

## 1 事業の成果

- ・CST (Cadaver Surgical Training) 開催の運営補助を通じて、関係者に対する教育の場の提供、技術・知識向上に貢献した。また、ホームページ上にて継続的に情報発信を行い、一般市民への事業認知の拡大に努めた。
- ・子育て家庭を対象とした食材無料配布会や、定期的なサロン活動など、地域の社会福祉に貢献した。
- ・主に留学生を対象とした研究会を行い、国際的な福祉に貢献した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者的人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)
① カダバーサージカルトレーニングなど医療技術向上に関する支援事業	・浜松医科大学にて開催されるカダバーサージカルトレーニングの運営補助	(A) 令和6年5月～令和7年1月 (計9回) (B) 浜松医科大学 講義実習棟CST室 (C)5人	(D) 国内の医師、研究者 (E)234人	624
②子育て家庭支援や子どもの教育など地域の福祉に関する事業	・子育て家庭を対象とした食材無料配布会の開催	(A)年3回(6月、10月、3月) (B)浜松市三ヶ日町研修施設おひさま、浜松市三ヶ日町大崎自治会館 (C)7人	(D)静岡県西部の子育て家庭 (E)450人(子ども人数)、190家庭	951
③研修会の開催など全世代を対象とした健康増進に関する事業	・三ヶ日町地域福祉活動 ・三ヶ日町研修施設研究会	(A)毎月第4土曜 (計18回) (B)三ヶ日町大崎自治会館 (C)6人 (A)1月14日 (B)三ヶ日町研修施設 (C)5人	(D)大崎地区の住民 (E)346人 (D)国内外の一般市民、研究者および学生 (E)22人	174
④発展途上国支援や難民支援など世界の福祉に関する事業	・ウクライナ避難民を対象とした健康サポート事業。365日対応。	(A)令和6年4月～令和7年3月 (365日) (B)オンライン、団体事務局 (C)6人	(D)日本国内のウクライナ避難民2,768人 (※2025年3月31日) (E)1人 (※2025年3月	10

			31日)	
⑤その他 この法人の目的を達成するための事業	・本事業年度は、未実施	-	-	-
		支出合計		1759

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額(単位:千円)
その他の事業	・本事業年度は、未実施	-	-
			0

## ① カダバーサージカルトレーニングなど医療技術向上に関する支援事業

実施回数：9回

開催場所：浜松医科大学講義実習棟 CST 室

運営形態：浜松医科大学からの依頼を受けた CST 実施補助

本年度は新設された CST 室の利用を開始し、7団体により計9回の研修が開催された。

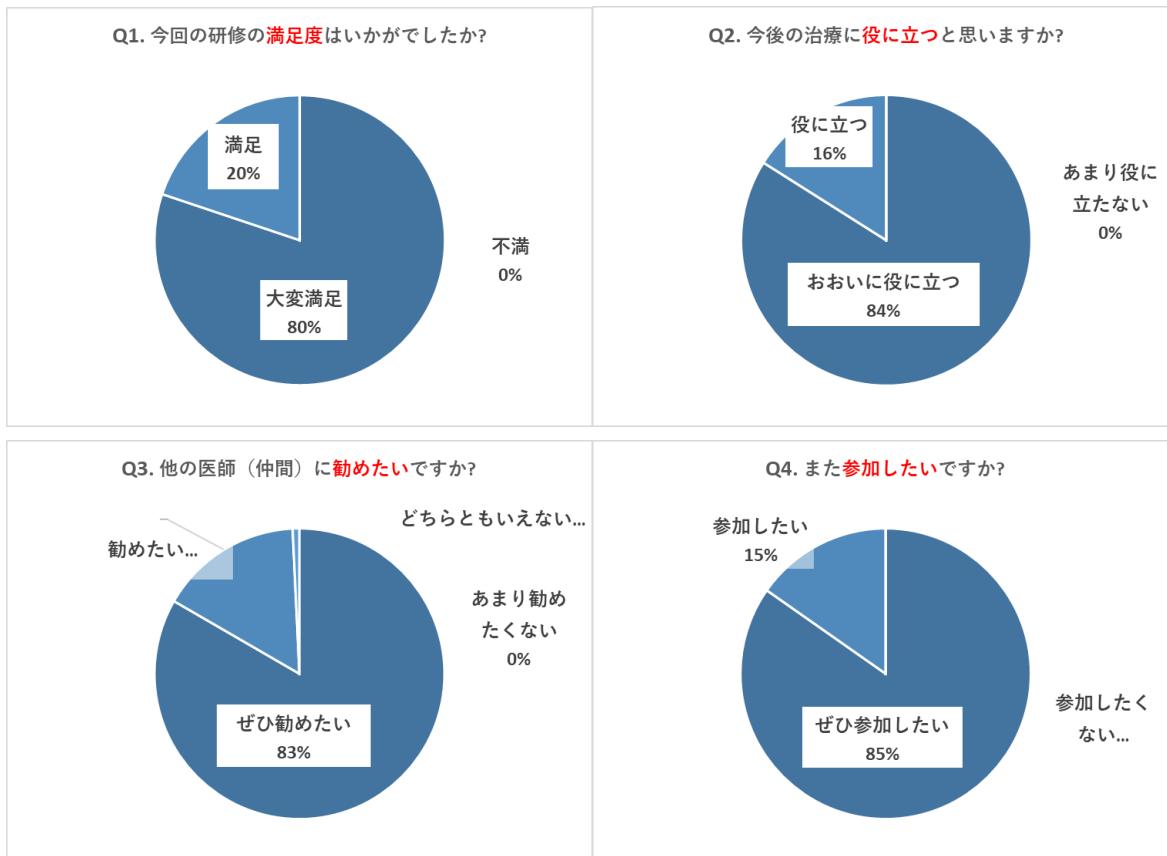
実施団体	テーマ	参加人数 (学外)	延べ使用 献体数	実施日
整形外科	整形外科学手術アプローチ、手技トレーニング、新たな術式、機材の開発	53名 (15)	4体	R6.6.5-6
乳腺外科	乳腺外科領域手術（乳房切除、腋窩郭清）についての手技研修	11名 (6)	1体	R6.6.22
形成外科	CSTによる形成外科手技の習得	10名 (1)	1体	R6.7.27
消化器外科	消化器外科領域の内視鏡外科手術（胸腔鏡、縦隔鏡、腹腔鏡など）についての手術実習	16名 (2)	2体	R6.11.10
整形外科	整形外科学手術アプローチ、手技トレーニング、新たな術式、機材の開発	54名 (19)	6体	R6.11.20 -21
産婦人科	婦人科手術における深部骨盤解剖実習	64名 (36)	8体	R6.12.7 -8
脳神経外科	脳神経外科および頭蓋底外科手術アプローチについての実習	-中止-	-	R6.12.20 -22
麻酔・蘇生科	神経プロックトレーニング及び三叉神経・腕神経叢・坐骨神経・腸骨筋膜についての解剖実習	14名 (5)	1体	R7.1.11
乳腺外科	乳腺外科領域手術（乳房切除、腋窩郭清）についての手技研修	12名 (6)	2体	R7.1.26
参加人数合計 (学外)		234名 (90)	25体	実数 Thiel10体



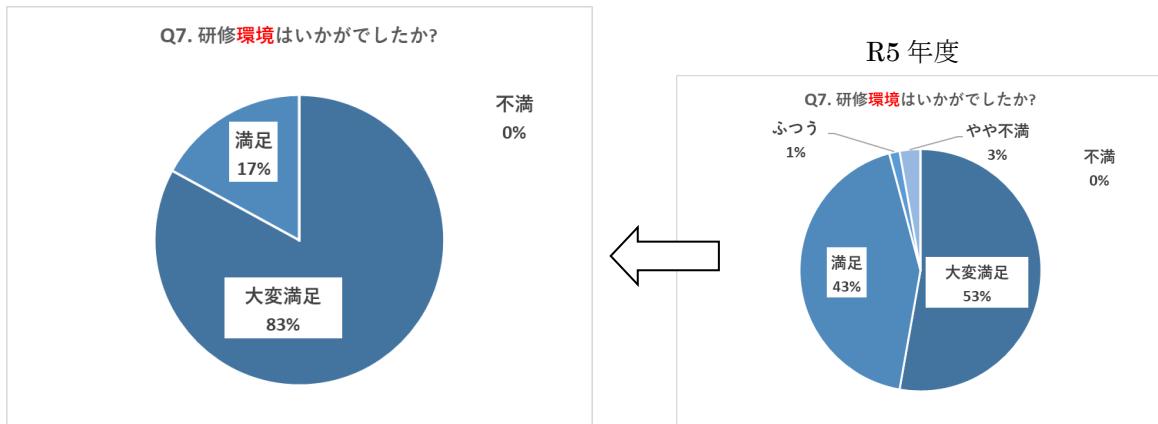
＜日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会の CST ワーキンググループによる＞  
鏡視下乳房再建の研修

### ＜参加者アンケート（一部抜粋）＞

参加者 131 名から回答を得た。全体の満足度は引き続き非常に高く、昨年とほぼ同様の評価であった。



一方、設備環境については、新設された CST 室の利用開始により、大きな改善が見られた。



他の主要な要望は以下のとおり

### Q6 今回の研修の改善点と今後の研修に期待することを具体的に教えてください。

5 人	無影灯を導入してほしい
5 人	参加費が高くなつたこと
4 人	時間が足りない（複数日数で開催してもらいたい）
4 人	もっと色々な手技をやりたい
4 人	Cアームが使えない
3 人	年に数回実施してほしい
3 人	CT画像の情報があると良い
3 人	手術手技の動画や写真をアーカイブ化してほしい

## ② 子育て家庭支援や子どもの教育など地域の福祉に関する事業

### ◇子育て家庭を対象とした食材無料配布会（令和6年度浜松市・湖西市後援事業）

農林水産省の政府備蓄米（NPOに無償提供）およびフードバンクふじのくに様より寄贈の食材を、高校生以下の子どものいる子育て世帯へ配布。

- ・第6回食材無料配布会（2024年6月）150名（63家庭）備蓄米450kg 食材8箱
- ・第7回食材無料配布会（2024年2月）150名（65家庭）備蓄米450kg 食材8箱
- ・第8回食材無料配布会（2025年2月）150名（72家庭）備蓄米450kg 食材8箱+知育菓子※

合計で450名（190家庭）に備蓄米1,350kg、食材24箱+知育菓子を配布

※知育菓子は「ツルハグループこども食堂ゆたかさ基金」2025年度春期助成にて購入



サロン会参加者と準備



食育資料と共に配布



無洗米計1350kg

## ③ 研修会の開催など全世代を対象とした健康増進に関する事業

### ◇三ヶ日地域福祉活動

大崎地区民生・児童委員の半田様と2023年8月より毎月第4土曜日に三ヶ日町大崎自治会館にて「みんなのサロン」を開始。高齢者を対象としたスマホ講座や、浜松医大の学生によるピアノ演奏会などを令和6年度には計18回開催し、延べ346人が参加した。



スマホ講座



浜松医大奇術部パフォーマンス



ピアノ演奏会

### ◇三ヶ日研修施設研究会

三ヶ日町の研修施設おひさまにて研究者・学生・一般市民を対象とした研究会を開催し、国内外から22名が参加した。

#### ④ 発展途上国支援や難民支援など世界の福祉に関する事業

##### ◇ウクライナ避難民を対象とした健康サポート事業

国内のウクライナ避難民を対象としたオンライン健康相談である「ウクライナ避難民の健康サポート」（2022 年度日本財団助成事業、2023 年度浜松医科大学社会貢献事業）について、第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会のシンポジウム「戦争・紛争とプライマリ・ケア～私たちにできること～」にてシンポジストとして発表を行った。（2024 年 6 月浜松にて開催）



#### ⑤ その他 この法人の目的を達成するための事業

##### ◇メディカルガーデン

患者やその家族に対し、“生きがいや人とのつながりを含めた健康”を自然やコミュニティを通して提供することをコンセプトに、主に三ヶ日町にて活動を開始。自然と健康のつながりを意識できるような薬草や果樹のある庭造りも並行して行っている。

##### 活動内容

- ・地域の方へメディカルガーデンの紹介&案内
- ・木の伐採の手伝い
- ・地域の学童で医療体験の実施
- ・地域の学童へのボランティア
- ・サロン会での忍冬（忍冬酒）についての発表

